



米国発表報道資料意訳

## アドビシステムズと UGS ユビキタスな Adobe Reader での 3 次元製品データ閲覧を可能にし 製造業界におけるコミュニケーション効率化に向けて協力

Adobe PDF と製造業界の標準的テクノロジーである  
JT フォーマットの組み合わせにより 3 次元データの利用範囲を拡大

### 【2005 年 10 月 28 日】

米国テキサス州プラノならびにカリフォルニア州サンノゼ発（2005 年 10 月 24 日） Adobe Systems Incorporated（NASDAQ: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）と製品ライフサイクル管理（PLM）ソフトウェアおよび関連サービスにおける世界的プロバイダ UGS Corp.（以下 UGS）は本日、世界中の製造企業によって最も広く採用されている JT データ フォーマットで保存されている莫大な 3 次元デジタル製品モデルを Adobe® PDF® ファイルとして閲覧、利用を可能にするために技術協力をを行うと発表しました。

アドビシステムズ社と UGS は、これまで Adobe® Acrobat® 7.0 Professional および Adobe PDF での Universal 3D (U3D) フォーマットの利用に関して協力しています。今回の技術協力により、JT フォーマットの 3 次元データが含まれる Adobe Acrobat 7.0 Professional および Adobe PDF のデータを無償配布されている PDF 閲覧、印刷用ソフトウェア Adobe® Reader™ 7.0 を利用して閲覧、利用できるようになります。Adobe Reader は 1993 年以来、5 億本以上が配布されています。

ダイムラークライスラー社 メルセデス自動車 グループ IT & IT プロセス担当ディレクターであるアルフレッド カッツェンバック (Alfred Katzenbach) 氏は、「今回の発表は、製品ライフサイクルの全プロセスにわたり、世界中の拠点やサプライヤとのコミュニケーションやコラボレーションの向上に寄与するものです。JT は、われわれの業界でデジタル製品モデルの表示に最も広く採用されている軽量な 3 次元フォーマットであり、Adobe PDF はドキュメント フォーマットとして世界のデファクト スタンダードです。膨大な 3 次元製品モデルを Adobe PDF ドキュメントに簡単にインポートでき、無償の Adobe Reader で誰もがドキュメントを閲覧できるようにすることで、Adobe と UGS は PLM ドキュメントの作成と共有のためのオープンな業界標準を確立しつつあります」と述べています。

### 製造業向けの強力なオープン ソリューションを提供

Adobe PDF はアドビシステムズ社が開発、機能拡張し、仕様を公開しているフォーマットであり、世界中の企業や組織で、3 次元オブジェクトを組み込んだ文書を含む電子文書を高い安全性と信頼性をもって配布、交換するために使用されています。Adobe PDF ドキュメントは、JT ベースのデジタル製品モデルをはじめとする 3 次元データを U3D フォーマットで表示します。

JT は、製品の視覚化、データ共有、コラボレーションを可能にする、PLM 業界で最も広く採用されているオープンな 3 次元データ フォーマットです。世界中の製造業界に属する企業や組織が使用しているほぼすべての主要な CAD アプリケーションは JT ファイルをエクスポートすることができます。

UGS PLM 製品担当エグゼクティブバイスプレジデントであるチャック グリンドスタッフ (Chuck Grindstaff) 氏は、「JT は、3次元データのコラボレーションにとって PLM 業界で最も優れたデータ フォーマットです。非常に柔軟で世界中の製造業で広く採用されている JT と、世界中のあらゆるところで使用されている Adobe PDF を利用することで、製造指示、見積り依頼 (RFQ)、マーケティング資料、その他、PLM の全プロセスで使用されるすべてのドキュメントの価値を高めることができます」と述べています。

アドビ システムズ社と UGS の協力関係により、Adobe PDF と JT を中心としたオープンな技術交流を可能にしました。UGS は、Adobe PDF Library を利用して、UGS のすべての PLM ソフトウェア ソリューションから、視覚的に豊かな内容を含む Adobe PDF ファイルを直接エクスポートできるようになります。同様に、Adobe は、JT ソフトウェア開発ツールキット (SDK) を利用して、今後の Adobe AcrobatR 製品で、JT ベースのインタラクティブな 3次元製品モデルを Adobe PDF ドキュメントにインポートできるようになります。

アドビ システムズ社 インテリジェント ドキュメント ビジネス ユニット プロダクトマーケティング担当バイスプレジデントであるユージーン リー (Eugene Lee) は、「JT と Adobe PDF は、世界中の製造業界に属する企業や組織で高く評価されており、すでに高い認知を獲得しています。JT は、正確で詳細な製品モデルなどを表示できる非常に価値の高い 3次元データ フォーマットです。Adobe PDF は、数多くの高性能な機能と、Adobe Acrobat 7.0 で可能になった U3D のサポートなどによって、製造業界ですでに高い信頼を得ています。Adobe は UGS と共に、JT と Adobe PDF の利用範囲を大きく広げ、製品ライフサイクルにわたってコミュニケーションの効率化と生産性向上を支援していきます」と述べています。

## UGS について

UGS は、世界全体でおよそ 400 万本の販売ライセンス数と 46,000 社の顧客数を誇り、製品ライフサイクル管理 (PLM) ソフトウェアや関連サービスにおいて世界をリードする PLM プロバイダです。UGS 製品やサービスに関する詳細は <http://www.ugs.jp>、<http://www.ugs.com/> (英文) でご覧いただけます。

このニュース リリースの記載内容のうち、歴史的事実でない部分については、製品の新規導入および継続的なイノベーションによって予想される顧客の利点に関する記述、または「可能です」、「します」、「期待されます」、「予定しています」、「予想されます」、「計画しています」といった予測的な言葉を伴う記述は、予測の記述に該当します。これらの予測的な記述は、数多くのリスク要因や不確実性の影響を受けるため、実際の結果は予測と異なる可能性があります。そうしたリスク要因や不確実性には、例えば PLM 業界における開発、競争、イノベーションの失敗、知的財産などに関連するものが考えられます。UGS は米国証券取引委員会 (SEC) に提出している最新の Form S-4 の登録届出書において、上記および上記に関連するリスク要因について見解を記載しています。UGS は、新しい情報が判明した場合や何らかの出来事が生じた場合であっても、このニュース リリースの予測的な記述を更新または修正する義務を負いません。

## アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、効果的で信頼性の高いデジタルコンテンツを製作、管理、配信するためのソフトウェア ソリューションを提供する世界有数の企業です。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。